

## 令和8年3月 さくら組ドキュメンテーション「砂場あそびの発展」

公園の砂場で遊んだが、Aくんは砂が手につくことを嫌がりあまり砂遊びに意欲的でなかった。



保育士が「あそこでBちゃんが葉っぱを集めているよ。一緒にやってみる？」と誘った。



2人で葉っぱを集める、集めた葉っぱをカップに入れて見せ合うなど関わり合いながら、楽しそうに遊ぶ姿がみられた。



### ☆考察☆

はじめ、砂あそびに意欲的でないAくんと、集中して遊ぶ他の子たちを見て、保育士は「Bちゃんの遊び方なら砂が手につくこともなく楽しめるのではないか」と考えて遊びに誘った。

→日頃からAくんとBちゃんは室内で同じ遊びを楽しむなど関わりが多く、このときもAくんは、砂が手につかないこともそうだが、Bちゃんと同じ遊びができてうれしい様子だった。

日に日に友だち関係が深まっている2歳児クラスの子どもたち、あらためて友だちの遊び方を知らせることは大切だと感じた場面だった。